

じいちゃんじてんしゃ
しゅっぱつしんこう



作 五足 萬
絵 永山 健一郎

じいちゃんから、
まごたちへ

いのちは、つながり、
めぐり、つづく

さいはて社



じいちゃんじてんしゃ
しゅっぱつしんこう



作 五足 萬
絵 永山 健一郎



さいはて社

じいちゃんじてんしゃ
しゅっぱつしんこう

作 五足 萬 ごたり まん

絵 永山 健一郎 ながやま けんいちろう

「ともくん。 じいちゃんじてんしゃ しゅっぱつ するよ」

じいちゃんが よんでいる。

おかあちゃんは

このあいだから はやばんの おしごとになつて、

あさはやく でてしまうんだ。



「ようし、ともくんと どらいぶだ」

じいちゃんは おおはりきり。

「じいちゃんじてんしゃ、しゅっぱつしんこう」

じいちゃん うれしそうに ゆうんだ。

じいちゃんじてんしゃは おおきくて がたがた。

ぼくの おしりは ひりひりだ。



「じいちゃんじてんしゃ、がたがたじてんしゃ、

ともの おしりは、まっかつか」

こうたにいちゃんが からかうから、

もう やんなっちゃう。

「ともくん。じいちゃんじてんしゃ、はやいだろう。

もう、いちようやまこうえんに ついたよ」

いちようやまの てっぺんには

ぼくのかよっている いちようやまほいくえんがある。

こうえんの いりぐちで じてんしゃを おりて、

いちようやまの さかみちを、

ぼくは あるいて のぼるんだ。



じいちゃんの うしろに ついて

さかみちを のぼっていると、

なんだか すこし、なみだが でてきて、

ぼくは もう、

おうちに かえりたくなる。

じいちゃんじてんしゃ しゅっぱつしんこう によせて

永田和宏

どの家庭にも、みんながとても大切にしている思い出や記憶が、そして大切に思い続けている何人かの人があるのでしょうか。家族の一人一人がそっと胸にしまっている思い出もあれば、もう亡くなってしまったけれど、いつもみんなが話の端々^{はたぎ}に記憶を共有している家族もあるかもしれません。

亡くなった人は、そのままこの世界からいなくなってしまうのだとは考えたくありません。その人を思い出せる人がいるかぎりには、その人はいつまでもこの世界のなかに居場所を持っています。

私は歌人^{かじん}でもあります、こんな歌を作ったことがあります。

わたくしは死んではいけないわたくしが死ぬときあなたがほんたうに死ぬ
永田和宏 『夏・二〇一〇』

十年前に妻を亡くした時、彼女を生かしておくためにも私が生きていなければならぬ、そうでなければ彼女があまりに可哀^{かわい}そうだと思ったのです。十年を経て、その思いはいよいよ強くなっています。

『じいちゃんじてんしゃ しゅっぱつしんこう』のじいちゃんは、とも君とこうた君が元気であるかぎりには、いつまでもこの世界にいられる。幸せなことではないでしょうか。忙しいかあちゃんを見かねて、幼稚園まで送って行こうと

言ってくれたじいちゃんでしたが、そのことによつて、とも君との最後の強い結びつきができた。じいちゃんにとつても、なによりもうれしいことだったに違いありません。

とても小さかった銀杏^{いちょう}の葉っぱが大きく、黄色くなつていく季節の時間に、泣き虫だったとも君が泣かなくなっていくまでの成長の時間が重なり、それがじいちゃんの弱つていく時間と逆に連動することが、この作品にとつても切ない陰影^{えい}を与えていることは指摘しておきたいところです。

じいちゃんの気持ちも、とも君の気持ちも、かあちゃんの気持ちも、ほとんど説明されてはいませんが、それぞれの思いが読者の中で、どこまでも広がっていくのが感じられます。小学校一年生になつたばかりの私の孫に読ませましたが、読んだあと、何も言わずに、本の前から動くことなく、しばらくじつとしていました。きつと彼女なりに、死というものを漠然^{ぼくぜん}と感じ取り、とも君のじいちゃんへの思いを自分の中で広げていた時間だったのでしょう。

この本は絵本ですが、作者五足萬さんの文章の清潔さにまず魅^ひかれます。押しつけがましいところが少しもなく、言葉のそれぞれがしんと静かで、木洩れ^{こも}れ日のような暖かさに満ちています。

私は作者と何度もお会いしていますが、それが、いつもこの作者から感じる話し言葉の印象とも重なります。作者の本名は、大隅萬里子さん。私の友人、大隅良典さんの奥さんです。萬里子さん自身も生命科学者として教授を務められた方ですが、この作品には、おそらく自身も研究活動に忙しく、子供を父親に任せざるを得^えなかつた頃の感謝の思いもこめられているのでしょう。自身の仕事のために、年老いた親の助けを頼らなければならない若い母親は多いと思います、そんな母親たちの思いをやさしく掬^{すく}いと、元気づけてくれる作品でもあると思います。

SAMPLE

五足 萬（ごたり まん）

一九四七年、山口に生まれる。本名、大隅萬里子（旧姓、中澤萬里子）。大学で生物学を学び、研究・教育に携わる。著書に、幼い頃に母親から聞いた話をもとにした再話絵本『ちやつくりかき』がある。

永山健一郎（ながやま けんいちろう）

一九四〇年、東京に生まれる。大学卒業後、化学会社に就職。退職後、大磯町に移住し、風景画を描くかわら、英会話サークルを主宰。著書に、海外赴任中の経験をもとにした企業小説『振り返らないで』がある。

じいちゃんじてんしゃ しゅっぱつしんこう

二〇二〇年一月二日 第一刷発行

作 五足 萬

絵 永山健一郎

発行所 さいはつ社

ホームページ <http://saihatesha.com>

メールアドレス info@saihatesha.com

電話 〇五〇―五四三五―七五八〇

ファクス 〇二〇―四六六八―七五二六

編集 大隅直人・正岡加代子

装幀 北尾 崇

協力 風木一人

印刷 シナノ書籍印刷

Copyright © 2020 by Man Gotari, Kenichiro Nagayama
Printed in Japan
ISBN 978-4-9909566-5-3